

わくわく

3月号

ホームページも  
みてね！

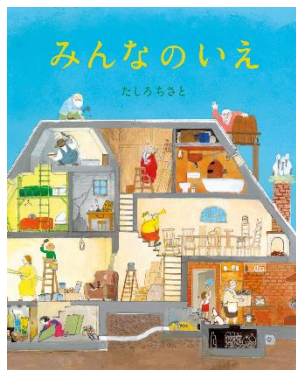


本だな

1 2 3 年



えほん



### E『みんなのいえ』

たしろちさと／著 文溪堂

ひとりの旅人<sup>たびびと</sup>が、だれも住んでいない家<sup>いえ</sup>にやってきました。部屋<sup>へや</sup>のてんじょうは今にもくずれ落ち<sup>おち</sup>そうで、あちこちにクモのすがはっています。旅人は、クモのすをはらい、てんじょうを直し、この家でくらし始めました。すると、べつの旅人たちがやってきて、どんどんすてきな家にかえていきます。

### K933『図書館のぬいぐるみかします1 わたしのいるところ』

シンシア・ロード／作 ステファニー・グラエギン／絵 田中奈津子／訳

ポプラ社

アイビーは、図書館でかりることができる<ブック・フレンド>のお人形<sup>にんぎょう</sup>です。でも、アイビーはだれにもかりられたくはありません。そこへ女の子<sup>おんなこ</sup>がやってきて、アイビーを家<sup>いえ</sup>につれて帰<sup>かえ</sup>りました。女の子は、アイビーのために木のえだで家<sup>つく</sup>を作ってくれました。

ものがたり



### K913『子ぎつねと音のなる石』

くすのきしげのり／作 酒井以／絵 あかね書房

ジン<sup>たび</sup>は、旅する音楽家<sup>おんがくか</sup>です。ある夜、宿<sup>よる</sup>のえんがわで歌<sup>うた</sup>っていると、一人の女の子<sup>ひとおんな</sup>が歌を聞きにきました。ジンが「いっしょにえんそうしてみようか」と言うと、女の子はきれいな音<sup>おと</sup>がなる<カンカン石>を持<sup>も</sup>ってきます。けれども、いつの間にか女の子は石<sup>いし</sup>をのこして、ジンのカバンといっしょに消<sup>き</sup>えてしまいました。

ものがたり

### K481『くらべた・しらべた野山のいろいろうんこ図鑑』

盛口満／絵・文 岩崎書店

動物<sup>どうぶつ</sup>は、かならずうんこをします。虫<sup>むし</sup>を食べるヤモリのうんこには、虫のかけらがまざっています。草<sup>くさ</sup>や木<sup>き</sup>の葉<sup>は</sup>を食べるウサギは、長いちょうを使<sup>つか</sup>ってゆっくりと消化<sup>しょうか</sup>して、うんこを出<sup>だ</sup>します。

この本<sup>ほん</sup>では、うんこから分かる動物<sup>わ</sup>の体<sup>からだ</sup>の仕組みや、くらしをしょうかいしています。

ちしきのほん



としょかんのまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200

わ

く

わ

く

3月号

ホームページも  
みてね！



本

だ

な

4

5

6

年



物語



### K949 『パパがしげみになった日』

ヨーケ・ファン・レーウェン／作 野坂悦子／訳 岡本よしろう／絵

ほるぷ出版

戦争が始まるまで、トダはパパと二人で暮らしていました。パパが戦争に行き、トダは、となりの国に住んでいるママの家へにげることになりました。けれども、トダはママのことをあまり知りません。ときどき電話で話したことがあるだけです。トダは、ママの住所が書いてあるノートと写真を持って、バスに乗りました。

物語

### K913 『竜が呼んだ娘 1 弓の魔女の呪い』

柏葉幸子／作 佐竹美保／絵 講談社

ミアは、罪人の村に住む十さいの女の子です。村はがけに囲まれた深い谷にあり、今の王族に破れた残党たちが暮らしています。村人たちが外へ出るためには、十さいの春に〈東の洞穴の竜〉に呼ばれなければなりません。村の子どもたちが、自分は竜に呼ばれるだろうかとおどらせる中で、ミアだけは「自分は呼ばれはしない」と思っていました。ミアは、自分に自信がなかったのです。

それなのに、春のある日、竜がミアを呼んでいるという知らせが届きます。ミアは心臓をドキドキさせながら、東の洞穴に向かいました。



ちしきの本

### K070 『それって本当？メディアリテラシーはじめよう』

フェイクニュースとクリティカルシンキング』

ジョイス・グラント／著 キャスリーン・マルコット／絵 片柳伊佐／訳

岩崎書店

話をでっちあげたり、大げさにしたりするフェイクニュースは、事実が少し混ざっているため、本物のニュースとの見分けが付きません。しかし、ちゃんと見ると、フェイクニュースは見ぬくことができます。何に気がつけて、気になったことをどう調べればいいのか、動画、記事、SNSのどれにも通じる方法をしょうかいします。



図書館のまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200